

第3学年 道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題 誇りうる生き方
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

今なお残る部落差別に憤りをもたせ、同和問題を自分自身の問題として捉えさせ、差別解消に向けた意欲と実践力を育てる。

4 指導計画

識字について

- 「文字が読めないって？」
（「自作資料」学級活動）1時間
- 「手紙～タヤけがうつくしい～」
（「わたしの願い」総合的な学習の時間）3時間
- 「雨の指文字」
（「わたしの願い」総合的な学習の時間）2時間

識字学級で学んだことによって、差別を乗り越え、奪われた文字だけでなく、大切なものを取り戻した姿に共感し、差別に立ち向かうことの大切さやこれからの生き方を考えさせ、差別解消に向け、仲間と共に主体的に行動しようとする態度を育てる。

校外人権交流学习

- （学級活動）3時間
- 識字学級生との交流を通して、識字学級生の思いを知り、差別解消に向けて、自分にできることを考えさせる。

人権講演会

- （学級活動）1時間
- インターネット上の人権問題を知り、今も形を変え残っている差別の実態について学ばせる。

就職差別について

- 「許せない就職差別」
（「わたしの願い」道徳科、総合的な学習の時間）3時間
 - 「部落地名総鑑」
（「わたしの願い」道徳科、学級活動）2時間
- 本人の適性や能力に関係なく差別選考をされることに憤りをもたせるとともに、すべての人が個々の適性や能力に応じて自らの進路を切り拓くことができるよう、就職差別の解消と公平な社会の実現のために、進んで行動しようとする態度を育む。

人権問題意見発表会

- （総合的な学習の時間）2時間
- 人権問題について発表し、友達の見解を聞いて人権意識を高め、自分たちに何ができるかを考えさせる。

結婚差別について

- 「結婚のダイヤモンドランキング」
（「自作資料」学級活動）1時間
- 「幸せのカタチ『家』」
（「わたしの願い」道徳科）1時間
- 「結婚差別について」
（「自作資料」総合的な学習の時間）2時間
- 「かげ」
（「新樹社」道徳科）1時間
- 「峠」
（徳島県版私たちの道徳 ふるさと教材）
学級活動、総合的な学習の時間、道徳科）3時間（本時3/3）

今なお残る部落差別に対して憤りをもたせ、同和問題を自分自身の問題として捉え、差別解消に向けた態度や実践力を育てる。

人権講演会

- （総合的な学習の時間）2時間
- 結婚差別の実体験を聞き、部落差別の解消が国民的課題であることを実感し、家族と共に考える意欲を高める。

5 本時の学習

(1) 目標

結婚差別を乗り越えた二人と両親の生き方から、偏見や差別のない社会の実現のために、自分がどのように生きていくべきかを考え、実践しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値

C-11 公正 公平 社会正義



SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

(2) 普遍的な学習のテーマ 偏見と差別をなくす

個別人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返る。	○登場人物の言動について振り返り、内容を確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">結婚に反対していた両親の考え方を変えたものは何だろう。</div>	
2 両親がどのようにして自らの中にある偏見や差別意識に気づき、それを克服していったかについて考える。	○前時で個別に考えた内容を班の中で発表した後、友達の意見を聞いて考えたことをまとめる。 ○授業支援アプリの共有機能を活用し、班員以外の意見も参考にできるようにする。 ○意見を全体で共有し、他の班の発表から気付いたことや共感したことについても発表させる。
3 登場人物の言動を通して、幸せになれたのは誰か考える。	○両親が自分の差別意識を克服することで、周りの人も幸せになれることに気付かせる。 ①②
4 偏見や差別のない社会の実現のために、自分はどうやって行動していくか考え発表する。	○これまでの学習を通して、自分はどうやって生活するか考えさせる。 ①②

(4) 評価

- ・ 同和問題を自分の問題として捉え、差別解消に向けてどのように行動していくかを考え、実践しようとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】①
- ・ 友達の意見を受け止め、自分の考えを発表することができたか。 【技能的側面】②